

**令和5年度
一般選抜（前期日程）
看護学科
小論文**

問題・出題の意図・採点評価基準

令和5年2月25日

高知県立大学

問 体験と経験の違いについて、以下の文章も参考にして、あなたの考えを1000字以内で述べてください。（配点200点）

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

<出典：金井壽宏、谷口智彦「実践知の組織的継承とリーダーシップ」、『実践知－エキスパートの知性』金井壽宏、楠見孝編、有斐閣、2012年>

<出題の意図>

体験を積み重ねることで、自ら活用できる知識に変換し、経験にしていくことが重要である。この設問により、体験と経験の違いに関する理解力、多面的に捉える能力、自分の意見を論理的に記述する能力をみる。

<採点評価基準>

体験と経験の違いについて、体験とは自ら実際に行動し、感じることであり、経験とは体験したことを省察することによって自らの知識に変換していくことであるなど、自分の考えが述べられているかを、思考力、判断力の観点から評価する。